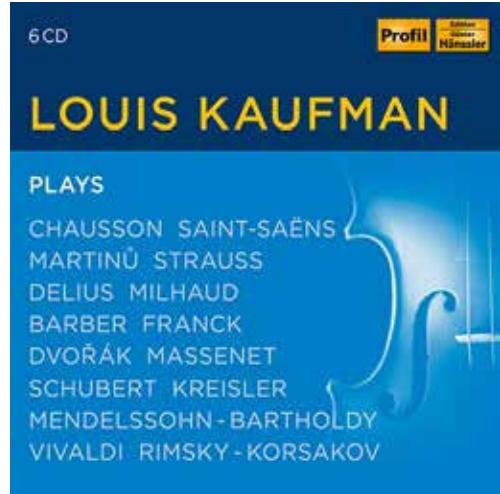


«PROFIL»

**美音と華やかな演奏が魅力!
ヴィヴァルディからバーバーまで、
ルイス・カウフマンの芸にたっぷりひたれる6枚**

<p>PH 21019 (6CD) MONO</p> <p>ルイス・カウフマン名演集</p> <p>Disc1 70'48" ① ショーソン：ピアノ、ヴァイオリンと弦楽四重奏のためのコンセール ② サン=サーンス：ヴァイオリン協奏曲第3番口短調Op.61</p> <p>Disc2 64'09" ① マルティニー：2つのヴァイオリンとピアノのためのソナタH.213 ② 同：5つの小品H.184 ③ リヒャルト・シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ変ホ長調Op.18 ④ ディーリアス：ヴァイオリン・ソナタ第1番 ⑤ ミヨー：小さなワニの踊りOp.256(全3曲)</p> <p>Disc3 62'27" ① ミヨー：ヴァイオリン協奏曲第2番Op.263 ② ドヴォルザーク：ユモレスク ③ チャイコフスキイ：アンダンテ・カンタービレ ④ ドルドラ：思い出 ⑤ クライスラー：ロンドンデリーの歌 ⑥ マスネ：タイスの瞑想曲 ⑦ シューマン：トロイメライ ⑧ リムスキイ＝コルサコフ(クライスラー編)：熊蜂の飛行 ⑨ シューベルト：アヴェ・マリア</p> <p>Disc4 74'13" ① メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調Op.64 ② フランク：ヴァイオリン・ソナタ ③ バーバー：ヴァイオリン協奏曲Op.14</p> <p>Disc5 72'22" ① コープラント：ヴァイオリン・ソナタ ② ロバート・ラッセル・ベネット：ソング・ソナタ ③ 同：ヘクサポーダ(六脚類) ④ グアルニエリ：ヴァイオリン・ソナタ第2番 ⑤ クインシー・ポーター：ヴァイオリン・ソナタ第2番</p> <p>Disc6 71'37" ① ヴィヴァルディ：四季 ② 同：ヴァイオリン協奏曲第8番ト短調RV332 ③ 同：ヴァイオリン協奏曲第12番ハ長調RV178 ④ 同：2つのヴァイオリンのための協奏曲二長調RV513</p>	
---	---

★ルイス・カウフマン(1905-1994)はアメリカの名ヴァイオリニスト。ハイフェッツと同世代ながら、ステレオ録音に恵まれなかつたため今日の知名度は一連の巨匠たちほど高くはありません。しかし「カサブランカ」「風と共に去りぬ」などハリウッド映画のサウンドトラックにヴァイオリン・ソロで参加するなど全盛期は非常な人気を誇りました。

★カウフマンは非常にレパートリーが広く、メンデルスゾーンやフランクの定番名曲や小品から、コープラントやバーバーのような当時の最新作まで積極的にとりあげ普及に努めました。ここでもミヨー、コープラントやロバート・ラッセル・ベネットが自作の伴奏をしているのが貴重です。

★また、ヴィヴァルディの「四季」をアメリカで最初にレコーディングし、この曲がポピュラーになることを助けたといわれます。「四季」のみならずカウフマンは「和声と創意の試み」までも録音するという進歩性を示しています。

★とは言っても学究的なスタイルではなく、あくまで華やかな美音と力強い奏法が特徴で、「古き良きアメリカ」的な魅力を堪能させてくれます。